

宮城野区選出

ふれあい通信 春号

仙台市議会議員

松本よしお由男

# 市政報告

## 防災・減災はコミュニケーションから!!

◎発行人/松本由男(仙台市宮城野区)

〒983-0036 仙台市宮城野区苦竹1丁目8-13(事務所)

Tel.022-355-8644 Fax.022-355-8645



ご挨拶



謹啓 皆様におかれましては、益々ご健勝のことと拝察します。  
さて、早いもので本年の夏は、議員の任期4年の折り返しです。  
世の中は、国内・外、宇宙、インターネット空間にいたるまで何でもありの様相です。  
このような時だからこそ、ぶれることなく基礎・基本を重視し、本質・真実はどこにあるのか、問  
い続けることが重要だと考えます。まさしく「守・破・離」の循環です。  
そして、自分に与えられた職責を、淡々と実行することだと考えます。  
前号のふれあい通信において触れたように「政治は生活そのもの」です。電気、ガス、水道、学校、保  
育、福祉、病院、道路、交通、町内の活動等々、人は支えあいながら生かされております。  
今後も、皆様の声なき声に思いをいたし、地方自治の二元的代表制の仕組みのもと、是々非々で着  
実に形にしていきます。  
市民派議員として一所懸命に職務に精励する所存ですので、引き続きのお力添えをよろしくお願  
い申し上げます。  
皆様におかれましては、時節柄くれぐれもお身体ご自愛ください。

謹白

### 新年度予算を議決しました!!

奥山市長から議会に提案された1兆1,109億円(前年度比199億円増)の予算案を議決しました。大震災以降引き続き高い水準となりました。

本市の「政策重点化方針2020」に基づく政策に予算を重点配分するとともに、復興に向けた継続的な課題への対応を図ることとしています。

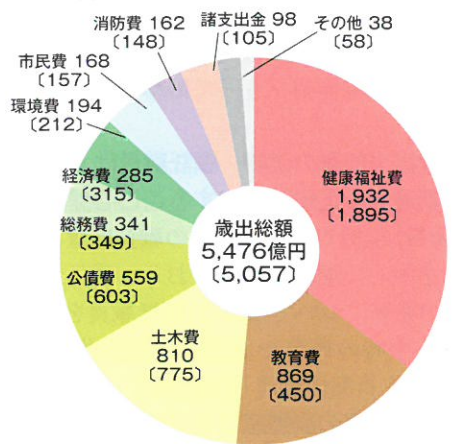
今後は、予算執行責任のある奥山市政をチェックしていきます。

- ◆ 一般会計(※1)は、5,476億円(前年度比409億円増)
- 県費負担教職員権限移譲に伴う教職員等の増などによる教育費の増加
- 子ども子育て支援関連経費の拡充等による健康福祉費の増加
- ◆ 特別会計(※2)は、3,213億円(前年度比101億円減)
- 公債費の減少
- ◆ 企業会計(※2)は、2,420億円(前年度比109億円減)
- 下水道事業における復興事業の進捗に伴う工事費等の減少

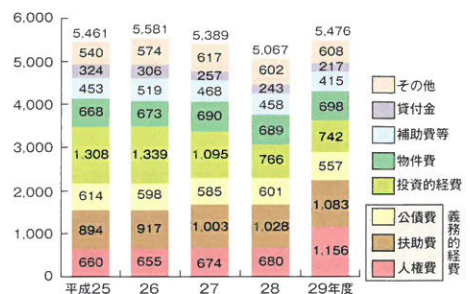
【凡例】

- ※1 一般会計とは?  
特別会計、企業会計以外の全ての歳入・歳出を経理、行政運営の基本的経費を計上する会計
- ※2 特別会計とは?  
国民健康保険や介護保険など、その事業に要する経費が、保険料など特定の収入で賄われる会計
- ※3 企業会計とは?  
民間企業と同じように原則としてサービスの提供により収益を上げ、その収益で費用を賄う事業の会計。本市では、下水道、バス、地下鉄、水道、ガス、病院

●【目的別】歳出内訳(一般会計)(単位:億円)  
※〔 〕内の数字は平成28年度当初予算の金額



●【性質別】歳出額(一般会計)の推移(単位:億円)





# \*松本よしお由男市議

# 活動報告

本職の強みとする「総合的な危機管理」の視点及び市民目線の施策提案型により、市長及び各局長に質問し、一定の前向きな答弁を得ました。

議会での一般質問等【第3(9月)定例会】・【第4(12月)定例会】【第1(2月)定例会】における一般質問及び答弁

**Q1** 総合的な治山・治水対策のための一つにまとめた計画づくり

本市は、「防災環境都市」「しなやかで強靱なまちづくり」を掲げている。これを実効性あるものにするためには、森林、河川及び下水道等、各部局縦割りを避けなければならない。そこで、一つの計画・地図の中に漏れなく全体象を展開し、ハード・ソフト両輪による総合的な治山・治水対策を推進するため、一つにまとめた計画を策定することを提案するが？

**A** 〈奥山市長〉総合的な雨水対策という観点が必要であるということについては、今までの答弁の中で述べたとおりである。現時点では、計画という名称ではなく、既存の計画を総合的な雨水対策という視点を踏まえながら運用することによって、松本議員の目的と同じような考え方で事業を進める所存である。

**Q2** 不測の事態に備え、各区・総合支所に危機管理部署の組織を新設することを提案するが？

**A** 〈危機管理監〉現在、各区には危機管理を専属とする組織は設置していないが、危機管理、防災に関する業務は、区民生活課が担っている。また、災害時等には、区民生活課、総務課、まちづくり推進課が中心となり区対策本部を運営し、対応にあたることとなっている。

今後、組織の対応力等をより高めていくためには、職員一人ひとりの資質と意識の向上を図っていくことが大変重要であり、現体制をもって研修や訓練の強化に取り組んでいく。

**Q3** 危機管理担当部署の臨時・嘱託職員は、職務の特殊性、地位・役割等から正規職員化することを提案するが？

**A** 〈総務局長〉危機管理担当部署の職員配置は、基本的には正職員を中心に配置を行っており、受付業務や期間限定の一部の業務については臨時・嘱託職員を配置している。

今後、平時の業務や災害時の対応体制を見据えながら、適切な人員配置を講じていく。

**Q4** 避難所備蓄物資の調整窓口を平時も有事も同じくすることを提案するが？

〈危機管理室〉備蓄物資の調整窓口と対応の流れは、災害時は各区の災害対策本部が対応し、区が対応困難な場合には市の災害対策本部が対応する。市民から意見のあった調整窓口が不明確ということについては、引き続き関係部署に周知を図る。

**Q5** 防災意識の普及啓発事業の予算要求額に対し、予算案が大幅に減額されているが、今後必要性が増大するマンションに関わる普及啓発事業が手薄になるのではないか？



**A** 〈都市整備局長〉平成25年から開始している「仙台市マンション防災マニュアル作成支援専門家派遣事業」や「杜の都防災力向上マンション認定制度」を通じ、防災意識・防災力の向上に努めている。今後も防災に資する取り組みを拡大することが重要であり、セミナー等の啓発活動を通じてマンション管理組合等に働きかけを行い、分譲マンションにおける防災活動の促進に努めていく。

**Q6** 不測の事態に備えた帰宅困難者のための予備の一時滞在場所の確保及び一斉帰宅抑制を提案するが？

**A** 〈危機管理室〉観光客等、帰宅困難者のための一時滞在場所の確保の現状は、仙台駅構内及び同周辺に大震災時の実績をもとに11,000人の目標に対し、約9,600人分を確保している。

今後は、仙台駅の近隣である土樋、花京院等まで対象を広げ確保していく。更に、地元商店街等と連携・協議しながら一斉帰宅抑制等の啓発に努めるとともに、帰宅困難者対応にあたる担当者のスキルアップに努めていく。

**Q7** 町内会等の活性化のため、本市職員の町内会等への積極的な加入・活動を提案するが？

**A** 〈市民局長〉提案の、その職員が地元の、住んでいる場所の町内会、組織の中で活躍をするという視点は重要な視点かと思っているが、なかなか強制したりすることも難しいので、本会議で総務局からも述べたが、人事評価の中で、地域活動を書く欄もあり、その場合には通常の業務中の評価とあわせて、その分も加味して評価をしたりする。地域活動の意識を持った職員が、その評価の中では反映されているという認識である。そして、超過勤務も発生しているなか、現実に町内会長をやっている職員もいる。今後ともこのような考えをもとに継続実施していく。

**Q8** 空き家等対策について、今年度末までに策定予定の「仙台市空家等対策計画」の進捗状況及び現在までに見えてき



た「課題・論点」はどのようになっているのか？ また、空き家対策はややもすると、対処療法的視点のみが重点となりがちだが、平素から管理不全な空き家を生み出さない、予防策、抑制策も重点とすることを提案するが？

**A (市民局長)** これまで、3回にわたる空き家等対策計画検討部会で審議し、管理不全な空き家等の速やかな改善を図ることが最も重要であると考えている。今後は、計画期間の5年間のうち前半2年間で空き家等の解消集中対策機関として定める。また関係団体等との連携が不可欠であり、松本議員提案の空き家等を発生させないための予防・抑制策も両輪として、総合的に推進していく。

**Q9 社会福祉法人及び仙台市社会福祉協議会に対する本市の関与の在り方は？**

仙台市が所轄庁となり、指導監督権限を持つ、障害福祉施設、保育所、児童福祉施設等を運営する社会福祉法人は、平成28年度に宮城県から権限移譲された18法人を加え、合計87法人となっている。各種課題を克服するため、今回の法改正がなされたが、この改革を実効性あるものにするため、社会福祉法人の指導・監督責任のある本市としての関与は、具体的にどのように変わるのか？

**A (健康福祉局長)** 今般の社会福祉法人制度の改革は、社会福祉法人が備えるべき公益性、非営利性に鑑み、地域社会へ貢献する存在としての役割を明らかにするために進め



られているものと認識している。

所轄庁としての本市の関与については、経営組織のガバナンス強化等の改正内容が新たに監査の対象となるとともに、指導監督の機能強化として勧告、公表の制度が設けられたことにより、経営改善や法令遵守について、これまで以上に実効性のある指導監督が行えることとなる。

平成29年4月施行分の改正法の対応に当たっては、所管法人への説明会を開催するとともに、定例の監査において、制度改革の趣旨が十分生かされるよう指導監督を行っていく。

## その他の主要質問項目

- Q10 地域防災計画の見直し事業についての懸案事項と今後の取り組み
- Q11 危機管理担当部署の人事管理のあり方の明確化
- Q12 災害時要援護者の実効性ある支援のための個人情報取り扱い
- Q13 市長部局による災害支援活動団体等を掌握するための総合窓口の設置
- Q14 教育長及び教育委員6名の市長による選考項目の見える化
- Q15 議会における質疑の後の市長部局の進捗管理表の策定・見える化
- Q16 本市初のホームページ上での予算編成過程の公表(一昨年本職が提案)を更に促進
- Q17 防災・減災の取り組みを行う上での新年度予算の裏付け
- Q18 緊急時における予備費3億円の迅速・柔軟な運用

上記Qの答弁は、松本よしお  でチェック!!

耳よりな 新規の主要事業情報!

1 危険空き家除去補助

2 高齢者の生活支援体制整備のための市民向け講演会の開催

3 障害者支援施設等の防犯設備整備補助

4 パラリンピックに向けた障害理解・交流促進

5 子ども医療費助成制度の拡充(H29.10から)

6 スマホアプリによる道路不具合通報構築

松チャンは全国とびまわっています!

## アクティブ市議活 道中記



### ①市民教育委員会

いじめ事案に関わる質疑がまだ継続している。私見として、しっかりとした児童・生徒に向き合った、学校だけではなく地域・社会全体で覚悟をもった教育をすることにより、その結果として、いじめは少なくなっていくと考える。

地域・社会という言葉にすると個人が見えなくなる。一人ひとりの個性に向き合いながら、丁寧に「までい」に営むことであろう。

昨今は、目標である「いじめを無くすこと」が目的化している感がある。教育目的は、自らで考え、生き抜くすべを体現できる人間を育てることにある。我々は、真の本気度を試されている。

### ②防災・減災推進関連

◆ 議員提案による「仙台市防災・減災のまち推進条例」が成立しました!  
本市の防災にかかわる条例は、昭和53年の宮城県沖地震を受けて出された「防災都市宣言」でしたが、防災に関する基本的な理念、市民の災害対応の礎とするべきものが体系化・明文化されていない等の特性がありました。このような中であって東日本大震災等による社会情勢の変化等から、将来にわたる防災・減災の意識を醸成するため、本条例を提案・議決しました。

◆ 津波避難施設13カ所すべてが完成しました!  
本年3月に2カ所の完成を受け、仙台市で計画していた、津波避難タワー6カ所、津波避難ビル(消防団施設併設)5カ所、津波避難屋外階段2カ所の計13カ所すべてが完成しました。今後大事なことは、この施設を平素からいかに身近なものにするかという取り組みです。



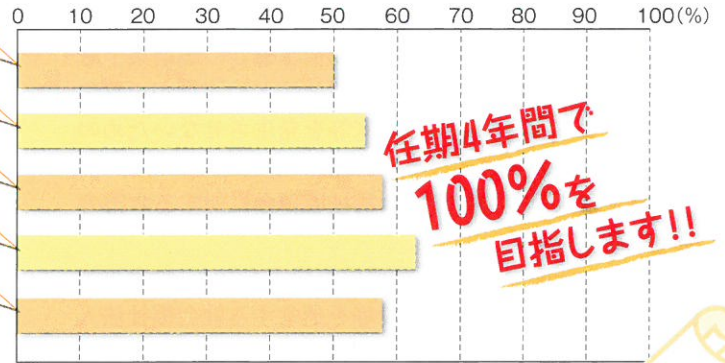


# 自己採点!

政務活動(公約)の進捗状況をお知らせします

## 安心・魅力あるまちづくり 5つのポイント

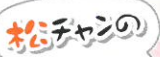
- 1 総合的に危機管理ができるまち
- 2 出産・保育・教育の充実したまち
- 3 子ども・高齢者・障がい者にやさしいまち
- 4 雇用が持続するまち
- 5 潤いのある活き活きしたまち



※詳細はホームページをご覧ください。

## 宮城野区内の主要事業

- |                                     |                              |
|-------------------------------------|------------------------------|
| ■ 鶴ヶ谷第一市営住宅団地……………再整備の推進            | ■ 公園整備……………高砂中央公園、与平衡沼公園等    |
| ■ 特別養護老人ホーム建設費補助……………鶴ヶ谷中学校区、西山中学校区 | ■ 海岸公園再整備……………蒲生地区           |
| ■ 雨水ポンプ場整備……………鶴巻                   | ■ 道路防災対策……………塩釜亘理線           |
| ■ 広域観光拠点機能強化推進……………仙台駅周辺            | ■ みやぎの地域づくり推進モデル事業……………鶴ヶ谷地区 |
| ■ 鉄道駅周辺地区バイアフリー化等……………再整備の推進        | ■ コミュニティ・センター大規模修繕……………東仙台   |
| ■ 都市計画街路整備……………宮城野橋、五輪              | ■ 海辺のふる里づくり支援                |
| ■ 道路新設改良……………中野栄線                   | ■ 蒲生北部地区復興再整備                |
| ■ 橋梁整備及び維持補修……………安行寺橋、宮城野大橋等        |                              |



## ほっとHOTひと息

本市は、本年3月16日に日本郵便株式会社と高齢者および障害者の見守り活動に関する協定を締結しました。協定の主な内容は、市内郵便局(126局)の社員が業務中に高齢者・障害者宅を訪問する際、次のような異変に気づき、必要と判断した場合には、区障害高齢課または総合支所保健福祉課に連絡します。また緊急時には消防や警察に通報等を行います。

### ■ 異変があると思われる例

- 郵便受けに新聞やチラシなどがたまっている。
- 日中でも外灯が点灯されたまま、日没後でもカーテンが閉められておらず、人影も確認できない。
- ひんぱんに大声がする、物を投げる音がする等、虐待の恐れがある。

### ■ その他

- 過去の高齢者の見守り活動に関する協定締結先(三者)  
みやぎ生活協同組合(平成25年1月)、河北新報取扱店(平成27年1月)、  
仙台市ガス局(平成29年2月)

## プロフィール

仙台市議会議員

松本 由男

### ■ 現在

- 仙台市議会議員(宮城野区選出) 1期
- 防災・減災調査特別委員 ● 市民教育委員
- 行政書士

### ■ 略歴等

- 昭和32年7月7日  
岩手県軽米町(かるまいまち)出身
- 昭和51年3月  
陸上自衛隊仙台入隊(2等兵)  
第一線部隊(レンジャー等)、師団司令部、  
方面總監部等  
主な災害派遣: 阪神大震災、地下鉄サリン、  
東日本大震災
- 平成24年7月7日  
36年間勤務し定年退官(中佐)
- 平成24年8月  
行政書士、中高年齢雇用福祉協会(講師)、  
国立宮城障害者職業能力開発校(非常勤)、  
仙台経済同友会事務局(フィンランド協会)

### ■ 資格・免許

- 行政書士、総合危機管理士、防災士、仙台地域防災リーダー、産業カウンセラー、認定心理士、キャリアコンサルタント、FP技能士、調理師
- 大型特殊免許、けん引免許、小型船舶免許
- テニス公認指導員、銃剣道錬士、書道など

### ■ 趣味・嗜好等

- テニス、書道、日帰り温泉足湯めぐり、血液B型
- 好きな食べ物: マカロニ入りのポテトサラダ
- 大切にしている言葉: 「今を最良に生きる」



ご意見・ご要望をお寄せください!

松本よしお

検索



[www.matsumoto-yoshio.com](http://www.matsumoto-yoshio.com)

[yoshio@matsumoto-yoshio.com](mailto:yoshio@matsumoto-yoshio.com)

<https://www.facebook.com/matsumotoyoshiofan/>